

40期(2014年度)

2014年9月～2015年8月

環境活動レポート



株式会社
協栄産業

発行日 平成27年11月16日

組織の概要

1)事業所名及び代表者氏名

株式会社 協栄産業
 代表取締役社長 寺重 裕弘
 設立 昭和50年9月
 資本金 1200万円
 URL <http://www.kyoto-kyoei.co.jp>
 E-mail kyoei@kyoto-kyoei.co.jp



2)所在地


本社・工場 〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合87-4
 機材置場 〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合88-5
 TEL 0774-20-3225 FAX 0774-21-3818

3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 嶋崎 恵
 連絡先 TEL:0774-20-3225 FAX:0774-21-3818
 E-mail me-shimazaki@kyoto-kyoei.co.jp

4)事業内容について

1975年創業以来、砂利碎石製造設備の設計施工販売で培ってきた破砕すること、選別すること、搬送することを軸とした技術を生かし、これからの地球環境問題に事業活動を通じて取り組む企業です。

耐摩耗鑄鋼品販売 各種搬送機器伝導機販売	プラント設計・施工 骨材製造プラント、廃棄物処理プラント	アフターサービス
		

5)事業規模

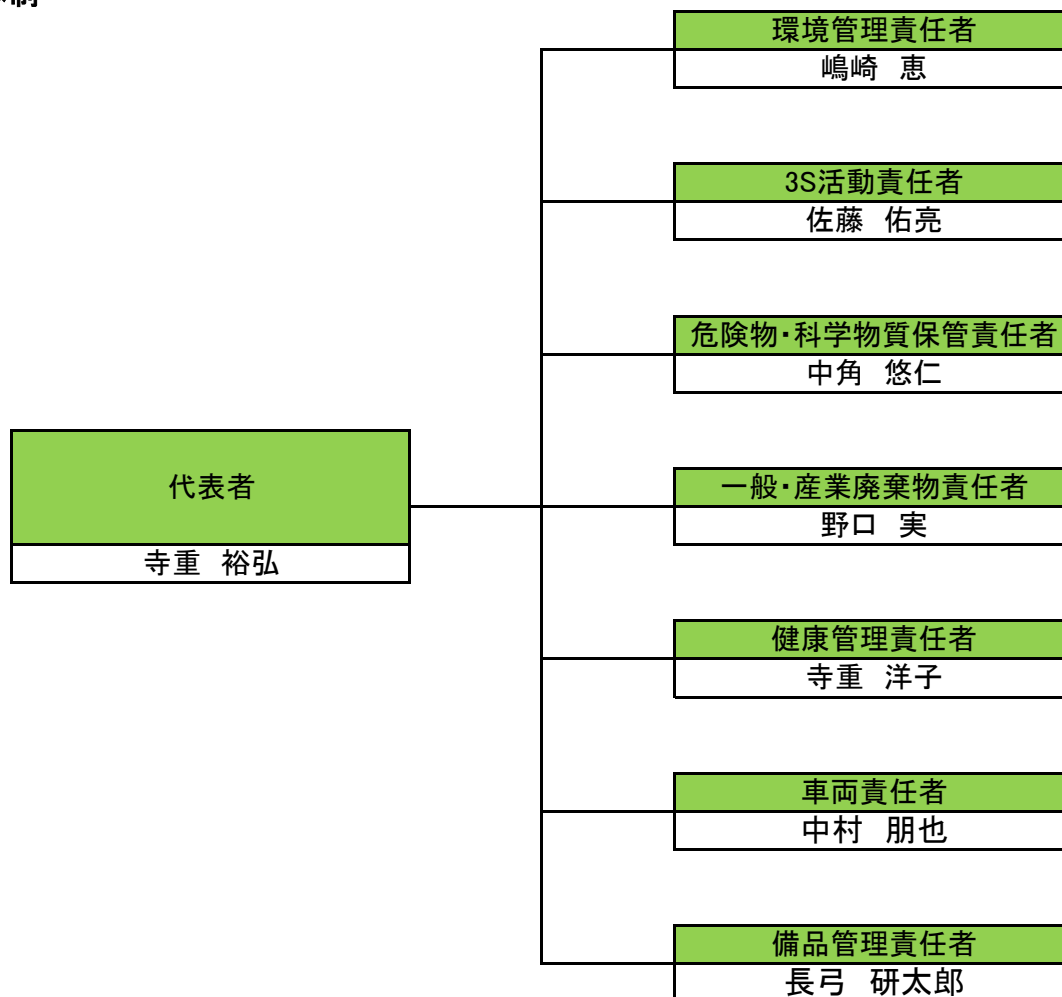
活動規模	単位	38期(2012年)	39期(2013年)	40期(2014年)
売上高	百万円	348	265	482
従業員	人	7	7/7月より 8	8
床面積	m ²	468	468/3月より600	600

6)事業年度 9月-8月

□認証・登録の対象組織

- 1)登録組織名 宇治市槇島町落合87-4
 3)活動内容 耐摩耗鑄鋼販売、プラント設計施工、アフターサービス

7)実施体制



役割	責任及び権限	担当者
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の設定 ・従業員に対し、指示及び改善箇所の見直し ・環境経営システムの総括責任者 ・改正等の確認及び指示 ・代表者による見直し 	寺重裕弘
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成及びデータ入力 ・教育、訓練計画及び是正・指示 ・環境管理システムの是正・指示 ・法令改正等のチェック及び見直し 	嶋崎恵
3S活動責任者	工場内の整理整頓 毎朝の10分間清掃	佐藤佑亮
備品・危険物・ 科学物質保管責任者	アセチレン、酸素、炭素ガスの在庫管理 ペンキ質の備品管理	中角悠仁
産業廃棄物責任者	分別の徹底 保管場所の整理整頓	野口実
車両責任者	定期的な車両チェック確認、提出、改善 エコドライブの呼びかけ、指導	中村朋也
健康管理責任者	職場の衛生管理 健康診断実施責任者及び健康だより回覧	寺重洋子
備品管理責任者	消火器の期限確認 看板設置、チェック確認	長弓研太郎

環境基本方針

環境理念

環境に配慮した事業活動を推進することにより、地球環境の保全に貢献し、社会から信頼される企業を目指します。

環境方針

当社は、環境理念を具体的に実現するために、環境マネジメントシステム(EA21)を構築・運用し、全社員参加のもと次のことを実施します。

1.環境負荷低減の推進

省エネルギー化の推進(二酸化炭素の排出量削減)
廃棄物の削減・リサイクル化の推進
環境に配慮したサービスを推進
水資源の削減を推進
化学物質の削減を推進
グリーン購入の推進

2.目的・目標の設定、見直しおよび継続的改善

エコアクション21に基づき、定期的な見直しを図り、継続的改善を社員全員が協力して取り組む

3.法規制の遵守

環境関連の法規制および協定等を遵守する

4.全社員への周知

当社環境方針を社員全員に対し掲示する
定期的な社員教育の実施

5.社外への公表

環境活動レポートを作成し、社外にも公表する

改正 2010.01.12

改正 2011.03.11

代表取締役 寺重 裕弘

環境目標

主な負荷の実績と環境目標

社員全員が意識を持ち、数値を把握しながら、取り組んでいきます。

基準値を38期(2012年)として、39期(2013年)0.5% 40期(2014年) 1.0% 41期(2015年)1.5%削減を目指す

購入電力の二酸化炭素排出量換算値:0.378kg-CO₂/kWh

インプット項目	単位	項目	38期	39期	40期	40期	41期	42期	43期
			2012年	2013年	2014年	2014年	2015年	2016年	2017年
			基準	0.5%削減	1.0%削減	実績	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
購入電力投入量	kWh	目標	12,052	11,991	11,931	9,055	11,871	11,811	11,752
灯油投入量	L	目標	384	382	381	90	379	377	375
ガソリン投入量	L	目標	4,082	4,061	4,041	4,190	4,020	3,999	3,979
軽油投入量	L	目標	7,010	6,974	6,940	7,813	6,905	6,870	6,836
低圧電力投入量	kWh	目標	1580	1,572	1,564	2,558	1,556	1,548	1,540
化学物質投入量(塗料)	Kg	目標	314	313	311	303	309	307	305
化学物質投入量(シナー)	L	目標	157	156	155	96	154	153	152
水資源投入量	m ³	目標	182	181	180	188	179	178	177
物質投入量	t	目標	0	0.185	0.184	0.270	0.180	0.179	0.178
総エネルギー投入量	MJ	目標	557,277	554,490	551,718	560,891	548,959	546,214	543,483
グリーン商品	品目	目標	13	15	16	18	17	16	15

アウトプット項目	単位	項目	38期	39期	40期	40期	41期	42期	43期
			2012年	2013年	2014年	2014年	2015年	2016年	2017年
			基準	0.5%削減	1.0%削減	実績	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標	38,768	38,574	38,381	36,635	38,189	37,998	37,808
総排水量	m ³	目標	182	181	180	188	179	178	177
一般廃棄物排出量	t	目標	0.05	0.449	0.447	0.26	0.444	0.441	0.439
産業廃棄物排出量	t	目標	0.02	0.02	0.02	0.42	0.01	0.009	0.008
製品への環境配慮	品目	目標	6	7	8	10	9	10	11

環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取 組	2014年 度 達成状	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			今年は、管理ボードを設置し、生産効率の向上化を目指していたが、朝礼時間での打ち合わせ等進めていくことが不十分な為、今後この課題も含め次年度取り組み強化の議題として取り上げていきたい。 電気消灯に関しては、徹底して出来ていたと思う。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	◎	継続	
・生産工程の待機時間短縮	○	強化	
・昼休みの消灯	◎	継続	
・不要照明の消灯	◎	継続	
・OA機器の省エネモード設定	◎	継続	
・生産設備のムダ防止	○	強化	
・白熱灯をLED電球に交換	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			今年度は、中距離、近距離の現場が多く、燃費も悪く、燃料も増加している。 今後は、車輛点検など日常の点検なども強化していきたい。
・アイドリングストップ	△	強化	
・急加速の抑制	△	強化	
・冷房の控えめ使用	◎	強化	
・買換え時は燃費マークを優先する	◎	継続	
産業廃棄物の削減			保管場所の見直しを行い、出来るだけ細かく分別できるように、スペースを設置したりした。
・分別保管場所設置	◎	継続	
・無駄のない材料手配	◎	継続	
一般廃棄物の削減			ペーパーレス化を強化し、裏面の印刷及びカレンダーなどの使用済みペーパーは全てメモ用紙に使用した。
・分別ボックスの設置	◎	継続	
・裏紙使用	◎	継続	
・古紙のリサイクル化	◎	継続	
節水			現場が多く、洗濯も増え水量も増加したと思われる。 今年度は、雨水利用、手洗い時の節水など多くの課題について細かく議論していきたい。
・雨水の利用	×	強化	
・手洗い水量の適正化	○	継続	
・清掃時の節水	○	継続	
グリーン購入			洗剤なども、環境に配慮したものを 選定していきたい。
・事務用品はグリーンマークを選ぶ	◎	継続	
・環境に配慮した製品を選ぶ	◎	継続	
製品への環境配慮			梱包の簡素化はもちろんのこと、客先にもリサイクルできる商品を提案した。
・梱包の簡素化	◎	継続	
・部品交換時のリサイクル化	◎	継続	
・環境配慮設計(プラント、機械設備)	◎	継続	
社会貢献			今後は、清掃範囲拡大を検討していく
・地域との交流を深める	◎	強化	

環境への取組状況

環境保全の取組チェック結果

環境保全の取組チェックリスト

おおむね実施(3) 一部実施(2) 未実施(1) と評価点数とする

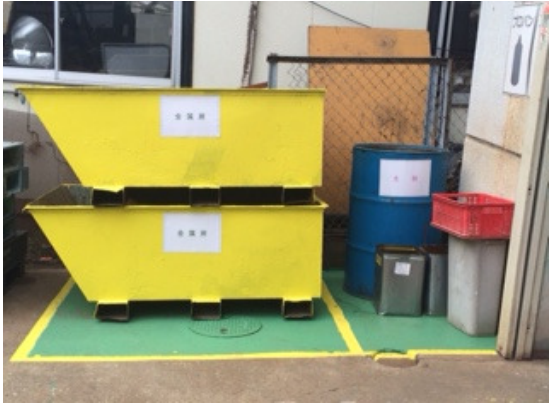
項目	2013年	2014年	満点	割合100%
インプット、アウトプットに関する項目				
節水、水の効率利用	3	3	3	
省エネに取り組んでいるか	3	3	3	
ペーパーレス化に取り組んでいるか	3	3	3	
両面印刷、両面コピーを徹底しているか	3	3	3	
空調の適温化を徹底しているか	3	3	3	
化学物質、危険物保管を徹底しているか	2	2	3	
アイリングストップ等運転方法を配慮しているか	2	3	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
ごみの分別をしているか	3	3	3	
	25	26	27	96%
環境関連法規制等の遵守状況に関する項目				
法規制を整理しているか	3	3	3	
自社に対応する法規制の一覧表を作成しているか	3	3	3	
定期的なチェック体制があるか	3	3	3	
	9	9	9	100%
環境コミュニケーションに関する項目				
外部等意見や苦情、問い合わせなどの対応をしているか	3	3	3	
緊急連絡方法を定めているか	3	3	3	
	6	6	6	100%
環境方針に関する項目				
環境に対する方針が策定されているか	3	3	3	
方針を掲示しているか	3	3	3	
	6	6	6	100%
環境活動に関する項目				
目標数値を把握し、環境を目標を設定しているか	3	3	3	
緊急時等マニュアルや訓練を行っているか	3	2	3	
3S活動を推進しているか	3	3	3	
全社員教育を行っているか	3	3	3	
環境管理体制に基づき作業が進んでいるか	3	2	3	
	15	13	15	87%
グリーン購入に関する項目				
清掃時における洗剤は、化学物質の含有量が低い物を選んでいるか	3	3	3	
トイレットペーパーについて、シングル巻き芯なしを購入しているか	3	3	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
コピー用紙等事務用品を再生材料の製品で購入しているか	3	3	3	
	12	12	12	100%



元の位置がわかるように、札を掛け、無くなった物がすぐにわかるように



産業廃棄物置き場
床を塗り保管場所を指定することにより、見た目もスッキリ！



壁や柱を利用して整理整頓



会社の周辺の清掃活動をしています。

★★ガソリン・軽油の燃費の統計★★

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	平均
1台目(ガソリン車)	16.5	16.7	17.8	15.7	15.7	14.7	16.4	17.5	16.4
2台目(ガソリン車)	10	11	10	11.8	12.5	12	10.2	10.7	11
1台目(軽油2t車)	6.4	7.2	8.2	8.5	9.5	7.3	6.3	6.5	7.5
2台目(軽油4t車)	5.1	5.4	5.8	6.3	5.1	3.9	5.2	5.5	5.3

	前年度	今年度
1台目(ガソリン車)	16.5	16.4
2台目(ガソリン車)	15	11
1台目(軽油2t車)	9.5	7.5
2台目(軽油4t車)	5	5.3

全体的に燃費が悪くなっている

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規等	遵守状況	遵守報告
資源有効利用促進法	遵守	廃棄時、パソコンのメーカー回収に協力している
消防法	遵守	該当する物質は、密閉容器に保管している。
高圧ガス保安法	遵守	該当するガスは、高圧容器に保管している。
家電リサイクル法	遵守	対象家電(TV,エアコン、冷蔵庫、洗濯機)の適正処理を委託し、費用の負担を行っている
自動車リサイクル法	遵守	廃車時、適正に処理を委託している
廃棄物処理法	遵守	一般廃棄物は、自治体に従い処理をしている
		産業廃棄物は、法律の従い処理をしている
浄化槽法	遵守	専門業者に委託し、定期点検を実施している

※2015年12月に環境法規最新情報の確認を行った。

※当社の業務範囲で該当する環境関係法規は、上記法規の規定内容を遵守している。

※なお、関係当局により違反等の指摘は過去三年間ありません。

代表者の見直し報告・結果

前年度に引き続き、企業訪問で学んだことを進めています。

毎朝10分間清掃では、床を拭くなどコーナー分けした場所を全社員で清掃し、管理ボードの前での朝礼も行っています。

今年度、未達成項目のガソリン及び軽油ですが、近・中距離での運転の仕方を見直ししたり、

日常の車両点検など具体的に話し合う必要があると考え定期的に会議を進めていきたいと思えます。

また、ストーブを大きいものから小さいもの買い替え、無駄のない使用方法で削減できました。